

## CSR 報告書 2013

### サイトレポート



#### CONTENTS

青海工場 .....	2	デンカアドバンテック(トアス) .....	18
大牟田工場 .....	4	電化精細材料・電化新材料開発 .....	20
千葉工場 .....	6	デンカポリマー .....	22
渋川工場 .....	8	デンカ生研 .....	23
大船工場 .....	10	シー・アール・ケイ .....	24
伊勢崎工場 .....	12	日之出化学工業 .....	25
デンカイノベーションセンター .....	14	デンカアツミン .....	26
デンカシンガポール(メルバウ・セラヤ)	16		

所在地：新潟県糸魚川市大字青海2209 電話 025-562-6105

従業員数：788名(2013年3月31日現在)

主要製品：エラストマー・機能樹脂部門：クロロブレン、ポパールほか

インフラ・無機材料部門：セメント、特殊混和材、カーバイド、石灰窒素、アルセンほか

電子・先端プロダクツ部門：モノシランガス

生活・環境プロダクツ部門：ヒアルロン酸製剤

その他：養鰻

工場概要：1921年の設立以来、石灰石の可採埋蔵量50億トンの黒姫山、18万kWの自家発電設備などの豊富な自社資産を活かし、独特のカーバイド化学を推進しており、石灰窒素、クロロブレンゴム、セメントなど幅広い製品を生産しています。近年では無機ファインケミカル、医薬品への展開も図るなど事業の多角化、高度化を進め、多彩な化学領域への挑戦を続けています。



常務執行役員青海工場長  
玉木 昭平



## 工場長方針

現場力と技術力のステップアップで安定した主力工場を目指す！

## 環境、安全、品質等に関する方針

- **安全衛生**  
無事故・無災害・疾病ゼロを目指し、一人ひとりが常に「安全第一」の風土を定着させ、明るく元気な青海工場をつくろう。
- **環境**  
環境マネジメントシステムを活用して環境活動を遂行するとともに持続的改善を図る。
- **品質**  
品質意識と技術力を向上させ、重大品質クレームの撲滅と顧客の信頼性を高める。

## 環境パフォーマンス

項目	単位	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度実績	13年度目標
エネルギー原単位	90年度比	0.94	0.97	0.96	0.94	0.94
CO <sub>2</sub> 排出量(エネルギー起源)	万トン	76	76	77	83	91
PRTR法対象物質排出量	トン	16	12	17	18	14
NO <sub>x</sub> 排出量	トン	3,030	2,750	2,820	2,940	3,000
SO <sub>x</sub> 排出量	トン	740	120	94	81	50
ばいじん排出量	トン	140	103	114	86	116
水利用量	千m <sup>3</sup>	64,700	66,300	67,200	64,000	—
COD(BOD)排出量	トン	1,100	1,570	1,270	850	1,270
産業廃棄物発生量	トン	74,700	83,900	105,200	109,870	115,000
廃棄物最終処分量	トン	240	160	143	100	120

(注)数値は四捨五入の関係で、個々の数値を合計したものと本表の合計値が異なる場合があります。(本表の合計値とは「CSR報告書2013」冊子18ページ記載のインプット・アウトプットの値を指します。)なお、エネルギー原単位、CO<sub>2</sub>排出量の算定にあたっては、経団連自主計画に準拠した算定係数を採用しています。

## 2012年度実績

### ● 石灰石採掘跡地の緑化(ドングリの植え付け)

原石山での石灰石採掘に伴い裸地が形成されています。青海工場資源部では、これまで土の吹き付け工事や、速効性のある外来種の播種による緑化に取り組んできましたが、費用対効果の問題や外来種の強い繁殖力による自生種の活着低下などの懸念から、原石山周辺のドングリを拾い集めて植え付ける「自生植物の植栽」に切り替えています。

2012年度は160個を植え付け、動物による食害を被ったり、枯れてしまったりしたものもありますが、元の森林に少しでも近づけていくよう、根気よく活動を続けていきます。



東山鉱山道路斜面における植え付け  
(アカガシ、コナラほか)

### ● 障害者雇用優良事業所 新潟県知事賞受賞

障がい者にとって働きやすい職場づくりと障がい者雇用の取り組みが評価され、2012年9月8日、障がい者の雇用の促進および職業の安定に貢献した事業所に贈られる「障害者雇用優良事業所新潟県知事賞」を受賞しました。

授賞式の時点では20名の方々が、それぞれの障がい特性に合った内容で業務に従事しています。今後とも障がい者雇用と働きやすい職場環境づくりを推進していきます。



「障害者雇用優良事業所」表彰式

### ● 地域青少年育成

当工場の認知度および科学への興味を深めてもらうため、科学の祭典などのイベントへの出展参加を積極的に行っています。

2012年11月3日、糸魚川市主催の「ジオまる・ぬーなどおもしろサイエンス」では、当社製品シュリンクフィルム「クリアレン®」を使用したマイペットボトル作りという内容で出展し、236名の子どもたちが参加しました。

### ● 日本海クラシックカーレビューに青海鉱山のボンネットバスが活躍

地域貢献の一環として、糸魚川市観光協会主催の「日本海クラシックカーレビュー」に資源部所有のボンネットバス(1970式 いすゞTSD40型)の出展と試乗会を行い、イベントに参加された観客の方々から大いに喜んでいただきました。



青海鉱山のボンネットバス



236名の子どもたちにご来場いただきました

## 2013年度の取り組み

- ◇ 全員参加の安全活動、コミュニケーションの活性化により明るく元気な職場づくりを推進します。
- ◇ 昨年に続けてゼロエミッションを達成したことを受け、さらなる環境負荷物質低減を進め、地域環境の維持改善に努めます。また、社会貢献活動および地元地域との対話を大切にして、信頼される工場を目指します。
- ◇ 製品安全を含めた顧客ニーズに適切に応えるため、生産技術を高めるとともに、製品品質のつくりこみ・安定化を図ります。

所在地：福岡県大牟田市新開町1 電話 0944-52-1055

従業員数：652名(2013年3月31日現在)

主要製品：インフラ・無機材料部門：カーバイド、石灰窒素、ファイアレン、アルミナセメント、特殊混和材

エラストマー・機能材料部門：アセチレンブラック

電子・先端プロダクト部門：熔融シリカフィラー、窒化けい素、窒化ほう素、窒化アルミニウム、セラミックス系電子回路基板、電子部品用放熱シート、セラミックス複合体、LED用蛍光体

工場概要：大牟田工場は1916年に当社として最初に建設された工場です。カーバイド、石灰窒素の製造からスタートし、無機化学品の製造拠点として独自の電炉技術、高温制御技術、窒化技術をベースにユニークな製品を数多く生み出してきました。近年では、ファインセラミックス、電子材料領域へ進出しています。エレクトロニクス、自動車など幅広い産業の発展に貢献していきます。

## 工場長方針

現場の本質的な安全・保安を確保した上で、「DENKA100」の目標達成に向けて、「大牟田工場の再構築」への道筋を具現化するとともに、工場整備を加速する。



常務執行役員大牟田工場長  
狩野 利春



## 環境、安全、品質等に関する方針

### 1. 安全・保安・衛生の確保【労働安全衛生・保安防災】

管理職と作業者が一体となって、安全・保安・衛生のレベルアップを図り、安全で安心して働ける職場環境づくりを推進する。安全レベルの評価システムを積極的に活用し、具体的な改善活動を展開する。

### 2. RC活動の深耕【環境負荷低減、物流安全、化学品・製品安全、社会との対話】

原料から製造・保管・物流・使用・廃棄までの全般および研究を含む業務を通じ、一人ひとりが環境負荷低減につながる課題対応に取り組み、地域を含めた社会貢献の具体化を推進する。

### 3. 現場力の強化～製品ごとの徹底した基盤強化

製品ごとに収益構造の徹底解析結果に基づく収益極大化に向けた対応策を実行するとともに、現場では品質・原単位・収率を意識した「つくりこみ」を行うことで、基盤強化を具体的に推進する。

### 4. 「DENKA100」の目標達成に向けた課題対応～さらなる発展

「機能性粉末」の製造技術深耕に基づく機能強化～新製品・新品種の実績化による事業拡大に向けた計画を具体的に推進する。さらに、工場内外の誰が見ても良い工場といえるよう、工場整備を加速して推進する。

## 環境パフォーマンス

項目	単位	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度実績	13年度目標
エネルギー原単位	90年度比	0.92	0.91	0.9	0.94	0.90
CO <sub>2</sub> 排出量(エネルギー起源)	万トン	9	11	11	13	15
PRTR法対象物質排出量	トン	6	17	25	7.0	6.6
NO <sub>x</sub> 排出量	トン	1,000	1,120	940	850	1,040
SO <sub>x</sub> 排出量	トン	2	1	1	1.1	1.1
ばいじん排出量	トン	3	3	6	3.0	5.1
水利用量	千m <sup>3</sup>	1,190	1,310	1,390	1,220	—
COD(BOD)排出量	トン	1	1	2	1.0	0.9
産業廃棄物発生量	トン	6,861	8,670	13,600	7,400	12,000
廃棄物最終処分量	トン	133	71	39	22	22

(注)数値は四捨五入の関係で、個々の数値を合計したものと本表の合計値が異なる場合があります。(本表の合計値とは「CSR報告書2013」冊子18ページ記載のインプット・アウトプットの値を指します。)なお、エネルギー原単位、CO<sub>2</sub>排出量の算定にあたっては、経団連自主計画に準拠した算定係数を採用しています。

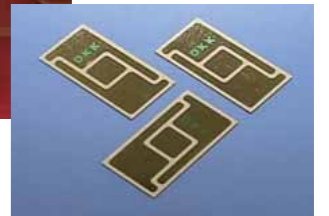
## 2012年度実績

### ● グリーンアジア国際戦略総合特区法人指定

グリーンアジア国際戦略総合特区とは、新成長戦略「元気な日本」復活を目指す国家プロジェクトとして創設された総合特別区域法に基づき、2011年12月22日に福岡県、北九州市、福岡市が国から特別区域として指定を受けたプロジェクトです。大牟田工場は、電力損失を大幅に低減させるパワーモジュールに不可欠なセラミックス基板、放熱板、放熱シートなどの関連製品の開発・生産を強化しており、2012年12月18日にグリーンアジア国際戦略総合特区法人に指定されました。



法人指定式典  
小川洋福岡県知事(左から2番目)と  
当社前田副社長(同3番目、当時)



大牟田工場で生産する  
パワーモジュール関連製品

### ● 化学への関心を高める活動

子どもたちの化学への関心を育てる活動を続けています。地元の小学生を対象として、各小学校に出向き「こども化学教室」の実演を行ったほか、大牟田市主催の「おおむたエコタウンフェア」にも参加しました。さらに、地域団体や学校の工場見学を受け入れるなどして、当社の活動に関する理解を深めています。



「こども化学教室」



小学生の見学

### ● 地域貢献、地域との交流

地域貢献活動として、地元の公民館と合同で春・秋の年2回、従業員も参加して清掃ボランティアを実施しました。さらに、年2回行われる大牟田市主催の「列島クリーンキャンペーン」にも参加しました。

また、年2回の献血活動では、2012年度は延べ198名が献血を行いました。

地域との交流としては、起源が300年以上前に遡るといわれる夏祭り「おおむた大蛇山まつり」の「1万人の総踊り」に従業員約100名が参加しました。



「おおむた大蛇山まつり」に参加



献血活動



清掃活動

## 2013年度の取り組み

- ◇ 地域への貢献として、「こども化学教室」の活動を拡大し、子どもたちに化学の面白さを伝えていきます。
- ◇ 安全確保のため、これまでの安全評価システムを活用した安全活動に、違ったアプローチ方法や手法を加えた活動を推進します。
- ◇ グリーンアジア国際戦略総合特区の指定法人として、環境配慮型高機能製品の開発・生産の拠点として、この大牟田地域で「元気な日本」復活を目指した企業活動に努めます。
- ◇ 名実ともに主力工場になるための活動を推進します。

所在地：千葉工場：千葉県市原市五井南海岸6 電話 0436-26-3200

美唄分工場：北海道美唄市東五条北10-1-1 電話 0126-62-1444

従業員数：458名(2013年3月31日現在)

主要製品：エラストマー・機能樹脂部門：スチレンモノマー、ポリスチレン\*、ABS樹脂、透明樹脂、耐熱性樹脂、SBC樹脂「クリアレン®」、酢酸ビニルモノマー、ERゴムなど(※関連会社製品)

生活・環境プロダクツ部門：食品包材、建材、塩ビテープなど

工場概要：スチレンモノマーを源流としたポリスチレン、ABS樹脂、SBC樹脂や透明樹脂などスチレン系樹脂に加え、酢酸ビニルモノマー、アクリル系ゴムなどの石油化学系製品と二軸延伸スチレンシート(OPC)や建材、塩ビテープなどの樹脂加工製品を製造しています。



## 工場長方針

- 「DENKA100」再スタートの方針のもと、「事業構造の変化」、「新規事業への展開」および「新製品開発」に積極的にチャレンジする。また、「徹底したコストの総点検」を実施し、安定収益の確保と数値目標の達成を図る。
- 「CHIBA50」活動を積極的に進め、「継続的発展に向け変化を遂げる千葉工場として、次の50年の礎を築く。
- 人財の育成、技術・技能の伝承、および技術の進化を着実に進め、「現場力」で安全・衛生、環境・保安、および高品質の確保を図り、信用と信頼の千葉工場を構築する。
- 小集団的活動、および工場内諸行事を通しコミュニケーションの強化を図り、健康で明るい工場を目指す。
- 企業活動および社会的責任(CSR)活動を通して地域・社会へ貢献し、社会に認知・信頼され、働き甲斐と誇りの持てる工場となる。



執行役員千葉工場長  
小泉 健

## 環境、安全、品質等に関する方針

### 環境

工場製品の開発から製造、流通、使用、最終消費、廃棄の全過程を通じて環境に配慮し、環境管理システムの構築、運用を行い、環境保全に努める。

### 安全

工場働く人々全員が、労働安全衛生の重要性を認識し、高圧ガス及びボイラー・一圧の認定事業者としての必要な保安管理体制を認知・実践し、関係法規を遵守する健全で安全な明るい製造工場を目指す。  
その基幹となる保安管理システム・安全衛生管理システムを継続的に改善、安全・安定操業の実践を通して、無事故・無災害を達成する。

### 品質

製品の品質確保と向上に努め、顧客満足の得られる製品を提供し続け、顧客の信頼を得る。

## 環境パフォーマンス

項目	単位	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度実績	13年度目標
エネルギー原単位	90年度比	0.85	0.87	0.89	0.96	0.89
CO <sub>2</sub> 排出量(エネルギー起源)	万トン	44	43	46	34	35
PRTR法対象物質排出量	トン	109	86	92	73	68
NOx排出量	トン	436	448	479	260	216
SOx排出量	トン	116	129	122	33	12
ばいじん排出量	トン	5	5	8	3.0	2.0
水利用量	千m <sup>3</sup>	9,700	9,700	9,690	9,580	—
COD(BOD)排出量	トン	17	23	22	13	20
産業廃棄物発生量	トン	17,431	18,300	18,100	14,280	12,000
廃棄物最終処分量	トン	98	40	23	39	22

(注)数値は四捨五入の関係で、個々の数値を合計したものと本表の合計値が異なる場合があります。(本表の合計値とは「CSR報告書2013」冊子18ページ記載のインプット・アウトプットの値を指します。)なお、エネルギー原単位、CO<sub>2</sub>排出量の算定にあたっては、経団連自主計画に準拠した算定係数を採用しています。

## 2012年度実績

### ● 大規模地震、大津波避難訓練

東海地震警戒宣言の情報をもとに、防衛本部の設立と職場防衛隊の編成、プラント操業への対応、火気作業の中止など二次災害防止への措置訓練など大規模地震対応訓練を行い、社員、協力会社、関係会社、計700名超が参加しました。また、避難誘導訓練と大津波避難訓練も併せて行いました。



避難訓練

### ● CM-3プラント見学会と感謝の会

1983年に操業を開始し、当社スチレン系事業の大きな柱として29年間操業してきたCM-3プラントを停止しました。プラントの停止にあたり、建設から操業に携わった元社員の方々によるプラント見学会を実施しました。



CM-3プラント見学会

### ● 工場見学・実験教室

6月の環境月間行事の一環として、近隣企業と合同で地元小学校5年生の工場見学会を実施しました。先生や児童からは、「工場で作られた製品が身近なものに使用されていて驚いた」、「普段見ることのできない工場を見学でき、楽しく過ごすことができた」との感想をいただきました。

その翌月、従業員の家族を対象に行われた「夏休み親子工場見学会」では、工場内をバスで見学し、大きなプラントの見学や岸壁での記念撮影を行いました。また、「楽しい化学実験教室」では、当社のシュリンクフィルムに思い思いの絵を描いたマイペットボトルの作成などを行いました。



夏休み親子工場見学会



近隣企業と合同で実施した小学生の見学会

## 2013年度の取り組み

### ◇ 環境活動

全社共通の省エネ活動、CO<sub>2</sub>排出量削減活動を中心に地球温暖化防止を推進します。また、省資源活動の推進、廃棄物削減、ゼロエミッション活動、環境負荷対象物質の削減に積極的に取り組みます。地域住民、行政との連携を深め、環境改善活動を推進します。

### ◇ 安全活動

安全文化に支えられた保安活動、安全活動を推進するために、保安管理・安全衛生管理システムの継続的改善と安全・安定操業の実践を進めます。  
近隣企業との協力体制をもとに、関係行政に指導を仰ぎながら地域の安全を確保するため保安防災活動を進めます。

### ◇ CSR活動

地域社会との共生を目指し、五井臨海まつりをはじめとした地元の催しや行事などに積極的に参加します。また、当工場の理解を深めていただくために地元町会の方々や小中高校生の工場見学を開催します。

所在地：群馬県渋川市中村1135 電話 0279-25-2109

従業員数：392名(2013年3月31日現在)

主要製品：電子・先端プロダクト部門：高熱伝導性アルミニウム基板「ヒットプレート®」、放熱部材「放熱スパーサー」、熱陰極源「TFE®」[LaB6カソード]、機能性粘着フィルム「エレグリップ®」、構造用接着剤「ハードロック®」、光硬化型接着剤「ハードロック®OP/UV」、仮固定用接着剤「テンブロック®」

工場概要：渋川工場は1951年より塩化ビニル系樹脂の製造拠点として発展してきました。1976年、構造用接着剤「ハードロック®」の製造を開始、さらに1984年に電子材料事業に本格参入、事業領域の転換を進めています。現在は、電子回路基板、放熱部材、エミッター、構造用接着剤、仮固定用接着剤や半導体プロセス関連製品などエレクトロニクス関連製品の生産に特化し、デンカの有機系電子材料の中核拠点として成長の一翼を担っています。



渋川工場長  
平野 秀樹

## 工場長方針

「攻撃は最大の防御」の姿勢で製造、間接ならびに研究のすべての部門で、新たな活動にチャレンジし、外部環境の変化を的確にとらえ、電子材料事業にふさわしい工場を目指します。

### 1. 人材育成

一人ひとりの知識、技量、意識の向上とコンプライアンス

### 2. 安全・保安・衛生・環境の確保

安全、安心、明るく元氣な職場づくり

### 3. 新しい取り組みへのチャレンジ

製造部門：品質・プロセスの見直しによる

コスト総点検

研究部門：スピードアップとソリューションの提供

間接部門：仕組みの見直しによる関連部門との連携強化

### 4. 「DENKA100」の推進

## 環境、安全、品質等に関する方針

### ● 環境

省資源化、省エネルギー化およびCO<sub>2</sub>排出量削減、廃棄物の発生抑制とゼロエミッションの維持、化学物質の管理強化など継続的な環境負荷の低減を図るとともに、地域との交流を通して地域社会との共生を目指します。

### ● 安全

挨拶に始まる「安全の基本」の定着と、挟まれ巻き込まれなどの高リスク作業に対する対策の見直しを、全従業員が共に考え、共に改善する活動を行い、事故・災害の無い安全・安心な職場の確保に努めます。

### ● 品質

製品品質の確保・向上の活動を継続的にを行い、お客様に満足され信頼を得られる製品をタイムリーに提供します。

## 環境パフォーマンス

項目	単位	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度実績	13年度目標
エネルギー原単位	90年度比	0.85	0.74	0.78	0.78	0.78
CO <sub>2</sub> 排出量(エネルギー起源)	万トン	1	1	1	1	1
PRTR法対象物質排出量	トン	5	6	4	3.8	5
NOx排出量	トン	6	10	6	5	8
SOx排出量	トン	16	10	1	0.94	1.1
ばいじん排出量	トン	1	0	0	0.02	0.02
水利用量	千m <sup>3</sup>	2,520	2,580	2,520	2,460	—
COD(BOD)排出量	トン	3	3	3	3.2	2.4
産業廃棄物発生量	トン	503	479	416	369	400
廃棄物最終処分量	トン	5	3	2	1.3	1.0

(注)数値は四捨五入の関係で、個々の数値を合計したものと本表の合計値が異なる場合があります。(本表の合計値とは「CSR報告書2013」冊子18ページ記載のインプット・アウトプットの値を指します。)なお、エネルギー原単位、CO<sub>2</sub>排出量の算定にあたっては、経団連自主計画に準拠した算定係数を採用しています。

## 2012年度実績

### ● 無災害記録電光掲示板設置

工場の無災害記録表示板を電光掲示方式に変更しました。外装はデンカカラーのブルーと白の2色とし、雨や曇りの日でも見やすい形にしました。また、第二種安全成績優良記録の達成を記念して安全塔の表示内容もリニューアルしました。



新たに設置された無災害記録電光掲示板

### ● 「DENKAソーラーパワーしぶかわ」竣工式

太陽光発電(メガソーラー)設備設置工事「DENKAソーラーパワーしぶかわ」の竣工式が2013年7月16日に挙行されました。新設されたメガソーラーには、耐候性、耐汚染性に優れたフッ素系樹脂ベース「デンカDXフィルム®」がバックシート材料として組み込まれた太陽電池パネルを約9,200枚使用しました。発電能力は2,000kWで年間発電量は一般家庭800世帯分に相当する260万kWhを見込んでいます。

日照時間に恵まれた土地を活かし、環境に配慮した企業活動を通して社会への確かな貢献を果たしていきます。



阿久津渋川市長(右)と当社社長

### ● 各種教育支援活動

駒場東邦中学高等学校化学部の生徒31名が工場見学のため来場し、エレグリップ課、基板製造課、エミッター課の見学を行いました。

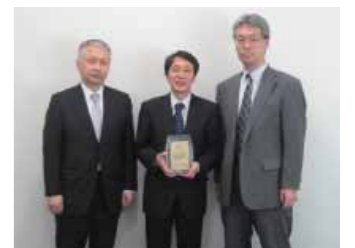


工場見学の様子

それ以外にも、地元の教育団体の工場見学を受け入れたり、中学生に職業体験を提供したりする活動を行いました。

### ● トヨタ自動車広瀬工場「品質栄誉賞」

トヨタ自動車株式会社広瀬工場2013年度優秀仕入先表彰において、最高栄誉となる「品質栄誉賞」を受賞しました。同工場へ納入する「ヒットプレート®」の「5年連続不良率ゼロ」の実績が評価されたものです。



トヨタ自動車広瀬工場による表彰



稼働中のメガソーラー(2013年7月撮影)



渋川・北群馬教育研究会理科部会の工場見学



渋川中学校2年生による職場体験

## 2013年度の取り組み

- ◇ 一人ひとりの知識、技量、意識の向上を図るよう、人材育成を行い、「DENKA100」達成のため、コスト総点検、研究開発でのスピードアップとソリューションの提供、業務の仕組みの見直しを行うなど、新しい取り組みにチャレンジします。
- ◇ 安全活動では労働災害ゼロを継続させ、安全、安心で明るく元氣な職場づくりを図ります。
- ◇ 環境活動では、法規制の順守を図り、環境保全・物流事故ゼロの継続を目指します。

所在地：神奈川県鎌倉市台2-13-1 電話 0467-45-1110

従業員数：203名(2013年3月31日現在)

主要製品：生活・環境プロダクツ部門：かつら用合成繊維、包装資材、機能性フィルムなど

工場概要：押出成型・粘着塗工・製膜加工技術をベースに高度な技術力を活かした製品群をラインアップ。世界的ブランドとなったファッション用ウィッグ・ヘアピース用の合成繊維原糸「トヨカロン®」、手切れ性テープや印刷テープをはじめとする特長ある包装テープ、横切れ性ポリエチレンフィルム「Yフィルム」などの製品を開発・製造し、樹脂加工製品の中核的な生産拠点として展開しています。



## 工場長方針

「DENKA100」の再スタートに向け、各自が自らの意識を変革し、目標に向け積極的にチャレンジする精神を発揮する。

1. 安全・保安・衛生の確保
2. RC活動の深耕
3. 現場力の強化と開発推進による工場基盤強化
4. 本質的な検討による各種課題対応



大船工場長  
渡部 秀樹

## 環境、安全、品質等に関する方針

### ● 環境

- ①温暖化防止(省エネ・CO<sub>2</sub>削減)活動の推進
- ②廃棄物削減・リサイクル推進・排出物質削減による環境負荷の低減
- ③物流安全の推進
- ④社会貢献(地域参加型・対話型交流)活動の推進
- ⑤法律・基準の遵守のための活動の継続

### ● 安全

- ①全員参加の安全活動
- ②コミュニケーションの活性化による明るく元気な職場づくり
- ③安全教育の徹底と一人ひとりの安全意識の向上
- ④保安力の向上
- ⑤作業環境改善と健康増進

### ● 品質

- ①製品安全性・安定性向上のための源流管理の強化
- ②現場力強化による品質づくりこみ意識と技術の向上
- ③品質管理・保証技術の教育と品質改善活動推進による顧客満足度の向上

## 環境パフォーマンス

項目	単位	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度実績	13年度目標
エネルギー原単位	02年度比	0.94	0.79	0.75	0.77	0.75
CO <sub>2</sub> 排出量(エネルギー起源)	万トン	1	1	1	1	1
PRTR法対象物質排出量	トン	1	1	1	1	1
NOx排出量	トン	1	2	2	2	2
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m <sup>3</sup>	87	8	59	51	—
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	188	199	124	110	100
廃棄物最終処分量	トン	32	30	30	17	12

(注)数値は四捨五入の関係で、個々の数値を合計したものと本表の合計値が異なる場合があります。(本表の合計値とは「CSR報告書2013」冊子18ページ記載のインプット・アウトプットの値を指します。)なお、エネルギー原単位、CO<sub>2</sub>排出量の算定にあたっては、経団連自主計画に準拠した算定係数を採用しています。

## 2012年度実績

### ● シンガポール新工場への技術移転

2013年6月からの「トヨカロン®」のシンガポール新工場稼働に先立ち、2012年10月より数カ月にわたり現地採用者9名の研修を実施しました。研修生は、製造技術・安全衛生・品質管理などの教育および実習を通し、「トヨカロン®」の生産に必要な知識・技術を習得するため熱心に取り組みました。今後は新工場の核となって活躍してくれることを期待します。



シンガポール現地採用社員の研修

### ● 安全・防災への取り組み

「安全道場」の「指差呼称の訓練」や「危機体感設備」を活用して、安全意識の向上に努めています。また、2012年度には地震と火災を想定した総合防災訓練を実施しました。



防災訓練

指差呼称訓練

### ● 地域の環境保全に協力

鎌倉市が進めているごみ減量化に協力し、工場内から排出される廃棄物の分別および削減活動(焼却ごみの減量など)に取り組んでいます。また、工場美化活動として、毎月第3水曜日を一齐清掃日とし、工場内および周辺歩道の清掃を実施しています。



工場敷地内清掃

### ● 地域との交流

2012年7月7日、近隣町内会の夏祭りに工場正門の広場を提供し、模擬店の出店や軽音楽部の出演などを通じて近隣住民の皆様との交流を深めました。



夏祭り

また、2012年10月11日・18日には工場見学会を開催し、地元小学校の3年生(計121名)に会場いただきました。後日、参加小学生より工場見学の感想やお礼の寄せ書きが届き、当工場を知ってもらった良い機会となりました。



小学生の工場見学

## 2013年度の取り組み

- ◇「日本を代表する文化・歴史・環境を持つ鎌倉市に立地する大船工場として、地域社会への貢献と共生を目指す」を理念に掲げ、地域社会との対話・交流を継続していきます。
- ◇生産プロセスの見直しによる温暖化防止(省エネ・CO<sub>2</sub>削減)活動の推進により排出物質削減や廃棄物の削減および分別によるゼロエミッションを目指し、環境負荷の低減に取り組めます。
- ◇安全活動では、「職場一丸となり、つけよう安全知識、高めよう安全意識」を安全スローガンとし、無事故・無災害の活動を進めていきます。

所在地：伊勢崎工場：群馬県伊勢崎市長沼町西河原245 電話 0270-32-1251

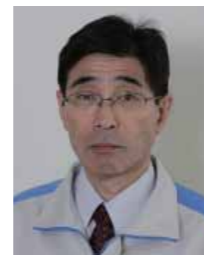
伊勢崎工場(太田地区)：群馬県太田市世良田町3015 電話 0276-52-4111

従業員数：267名(2013年3月31日現在)

主要製品：電子・先端プロダクツ部門：「デンカサーモシートEC®」、「デンカサーモフィルム®ALS」などの半導体、各種電子部品の搬送工程で使用されるキャリアテープ、トレイおよびカバーテープなど

生活・環境プロダクツ部門：「デンカスチレンシート」、「クリアレン®シート」、「デンカラップ新鮮」などの各種食品包装用シートやストレッチフィルムなど太陽電池モジュールのバックシートに使用される「デンカDXフィルム®」

工場概要：当工場は、ポリスチレン、塩化ビニルなどを原料とするシート・フィルムの製造を行っています。太田地区のシート生産能力は、単一規模としては東洋一を誇ります。食品包装材料や電子包装材料といった、高機能でかつ徹底した品質管理が必要な用途へ製品を供給しながら、加工技術の向上と、高付加価値製品の開発に取り組んでいます。



伊勢崎工場長  
田口 広一

### 工場長方針

1. 安全・衛生の取り組み
2. 「DENKA100」目標へ挑戦
3. 顧客満足度の向上
4. 設備近代化の維持
5. 環境にやさしい製品づくりの取り組み

### 環境、安全、品質等に関する方針

- 環境  
省エネ・省資源の推進と地域との共生
- 安全衛生  
管理者の危険予知責任、作業者の行動責任を明確にし、無事故、無災害を実現
- 品質  
品質向上と迅速かつ的確な顧客対応

### 環境パフォーマンス

項目	単位	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度実績	13年度目標
エネルギー原単位	05年度比	0.99	0.97	0.99	0.95	0.97
CO <sub>2</sub> 排出量(エネルギー起源)	万トン	1	2	2	2	2
PRTR法対象物質排出量	トン	0	0	0	0	0
NOx排出量	トン	0	0	0	0	0
SOx排出量	トン	0	0	0	0	0
ばいじん排出量	トン	0	0	0	0	0
水利用量	千m <sup>3</sup>	358	412	422	483	—
COD(BOD)排出量	トン	0	0	0	0	0
産業廃棄物発生量	トン	169	207	239	178	163
廃棄物最終処分量	トン	12	0	0	0	0

(注)数値は四捨五入の関係で、個々の数値を合計したものと本表の合計値が異なる場合があります。(本表の合計値とは「CSR報告書2013」冊子18ページ記載のインプット・アウトプットの値を指します。)なお、エネルギー原単位、CO<sub>2</sub>排出量の算定にあたっては、経団連自主計画に準拠した算定係数を採用しています。

### 2012年度実績

#### ● 防災・安全活動

総合防災訓練を伊勢崎・太田の各工場において実施し、緊急時対応能力の向上を図っています。訓練では、近隣消防署の協力を得ながら、初期消火に始まる有事における一連の行動の流れや連携について確認が行われたほか、消防署の指導のもと、規律訓練を行いました。今後も様々な災害を想定した訓練を実施し、危機管理体制の充実化を図っていきます。

また、各職場ではグループごとに安全活動を実施しています。製造現場では、作業長が中心となり、危険源の抽出と職場実態に合わせた安全活動を展開しています。研究部門では、安全知識に関して毎月テーマを設定して勉強会を実施し、年に一度の発表会を通じて取り組みの共有化を図っています。



総合防災訓練



安全交流会

#### ● 健全な労使関係

従業員の一体感醸成を目的として、労働組合と共催行事を実施しています。毎年恒例となっているボーリング大会では、



2012年職場対抗ソフト野球大会

半数以上の従業員が参加しました。従業員の交流以外にも、安全意識の向上を目的としたピラ配りを実施するなど、工場運営の多くの場面で労使が力を合わせています。



従業員の家族も一緒にテーマパークへ

#### ● 社会貢献

地域貢献の一環として、当工場従業員による社外清掃活動を定期的に行っています。伊勢崎地区では八斗島工業団地内にある坂東公園の清掃、太田地区では工場外周道路の清掃を実施しています。また、従来から工場内の美化活動を目的とした「美化デー」を毎月設けており、工場内外のクリーン化に全従業員で取り組んでいます。



工場周辺の清掃

#### ● 環境に配慮したもののづくり

2013年に太田地区において太陽光発電設備を導入し、約300世帯の年間電力を賄うソーラーパネルを製造建屋の屋根に設置しました(設置場所面積:9,000m<sup>2</sup>、設置パネル枚数:4,200枚、年間発電量:1,000MWh)。発電した電力は、電力会社を通じて一般家庭へと供給されています。また、当工場にて生産している「デンカDXフィルム®」は、ソーラーパネルの保護材(バックシート材料)として利用されています。



「デンカDXフィルム®」が使われているソーラーパネル

### 2013年度の取り組み

- ◇ 当工場は関係法令の遵守を第一に、環境保全活動に取り組みます。
- ◇ 環境保全に関しては、ISO14001を認証取得しており、産業廃棄物・有価物の削減、省エネルギー、省資源、物流安全を主要課題として取り組みます。特に廃棄物については、収率向上などにより発生抑制に努めます。また、工場周辺の美化活動を継続実施して社会貢献に努めます。
- ◇ 安全衛生に関しては、労働災害や設備事故の防止対策、生活習慣病・熱中症対策、メンタルヘルス対策などを進め、明るく快適な職場づくりに取り組みます。

所在地：東京都町田市旭町3-5-1 電話 042-721-3611

従業員数：111名(2013年3月31日現在)

研究所概要：デンカイノベーションセンター(中央研究所)の歴史は、1962年の目黒研究所(東京都目黒区)からの移転に始まり、これまで無機化学、セラミックス、有機化学、石油化学、バイオや樹脂加工分野などで多くの基盤技術を確認し、当社事業の基盤を担う製品を創出する礎となってきました。これからは当社研究開発の中心拠点として、当社の保有する基盤技術のさらなる深耕を進めながら、大型次世代製品の開発や中・長期的テーマの研究開発活動に注力していきます。



中央研究所長  
吉野 信行

## 所長方針

### スローガン

— 将来を担う次世代製品の研究開発推進 —

1. 産学官型コラボレーションの強化
  2. マーケットフェイシング型新テーマの創出
  3. 環境、安全衛生活動の推進
- a) RC活動の基本方針
1. 地球温暖化対応活動の推進
  2. 社会への貢献活動の推進
  3. 環境事故の防止
- b) 安全衛生活動の基本方針
1. 爆発・火災などの保安事故ゼロ
  2. 労働災害ゼロ
  3. 業務上の疾病ゼロ
- c) 品質向上活動の基本方針
1. 新製品開発段階での品質の向上
- d) 人材育成の基本方針
1. 自ら学び、自ら考え、自ら行動できる人材の育成

## 環境、安全、品質等に関する方針

### ● 環境

- ① 温暖化防止(省エネ・CO<sub>2</sub>削減)活動の推進
- ② 廃棄物削減・リサイクル推進・排出物質削減による環境負荷の低減
- ③ 物流安全の推進
- ④ 社会貢献(地域との参加型・対話型交流の継続)活動の推進
- ⑤ 法律・基準の遵守のための活動の継続

### ● 安全

- ① 全員参加の安全活動
- ② コミュニケーションの活性化による明るく元気な職場づくり
- ③ 安全教育の徹底と一人ひとりの安全意識の向上
- ④ 保安力の向上
- ⑤ 作業環境改善と健康増進

### ● 品質

- ① 製品安全性・安定性向上のための源流管理の強化
- ② 現場力強化による品質づくりこみ意識と技術の向上
- ③ 品質管理・保証技術の教育と品質改善活動推進による顧客満足度の向上

## ● トピックス

デンカイノベーションセンターでは、2014年のオープンを目指した新本館建設を進めています。社会とのコミュニケーションを重視した研究活動を推進すべく、オープンラボも計画されています。成長4分野を中心に、オープンイノベーションを推進

2013年4月1日付で新所長が赴任し、これまでの方針に沿った2013年度研究方針のもと、社内外の機関、研究部門と積極的に技術連携を行い、研究開発を推進しています。

(2013年度研究方針)

- ① 「DENKA100」目標に向けたテーマ設定と研究開発の推進
- ② ポテンシャルユーザー、外部研究機関とのコラボレーション推進
- ③ 他部門との連携研究におけるハブ機能の発現
- ④ 研究開発の促進、成功確率向上を目指したアウトソースの活用



新本館完成予想図(2014年春完成予定)

会社方針に基づき、環境、エネルギー、インフラ、健康の4分野を中心に研究を進めています。

(研究テーマの例)

環境：東北大震災対応の農業塩害対策向けの新規肥料材料の開発  
エネルギー分野：電池用途向けなどにカーボンナノファイバーの開発  
健康分野：診断薬の開発

## 2012年度実績

### ● 安全・防災の取り組み

日常の安全衛生活動では、EMSの維持活動と更新審査対応、安全意識の高揚活動、自衛消防隊の日常訓練や町田消防署との共催による総合防災訓練など地道な活動を継続しています。

また、旧第1本館の解体工事前に、町田消防署との総合防災訓練で建物への破壊・突入訓練を実施していただき、これにより感謝状を授与されました。その後のイノベーションセンター本館工事も2013年2月5日に起工式が行われ基礎工事が順調に進んでいます。

さらに2012年度は、労働基準監督署の指導のもと、労働安全衛生マネジメントシステムを運用に引き続き取り組みました。効果的にリスク低減を図った成果が18年間の無事故無災害につながったとして、2012年7月2日に厚生労働大臣奨励賞を受賞しました。



町田消防署との総合防災訓練



突入訓練の様子



厚生労働大臣奨励賞

### ● 「子ども化学実験ショー」に参加

社会活動も積極的に進めており、2012年8月4日には、科学技術館において開催された「夢・化学21委員会」主催の「子ども化学実験ショー」に約15年ぶりに参加し、「粉の不思議」と題して、ヒアルロン酸とセメントの粉を使った2つの実験を行い、来場者から大好評を博しました。

また、2012年11月22日には、町田市立町田第4小学校の



「子ども化学実験ショー」

3年生が見学を訪れ、実験装置や電子顕微鏡の観察では熱心な質問を多く受けるなど、有意義な校外学習を提供できました。



小学校見学受け入れ



## 2013年度の取り組み

引き続き安全衛生活動では、EMS維持活動、労働安全衛生マネジメントシステム実行など、地道な活動を着実に継続し、今後も事故・災害を起こすことのないよう努力します。

さらに2013年度は、デンカイノベーションセンター本館が竣工します。「イノベーションを通じ、DENKAグループの未来を切り拓き社会に貢献することを目指す外部に開かれた拠点」という基本コンセプトのもと、広い展示ギャラリー、見学ルートの設置、プレゼンテーションルームの充実、オープンラボを設けることなどで社会とのコミュニケーションをさらに発展させてまいります。

また、2013年度も「子ども化学実験ショー」に中央研究所が中心となって参加します。すでに、若手研究員が中心となり出展準備が着々と進められています。



# デンカシンガポール メルバウ工場

Denka Singapore Private Limited  
Office: 4 Shenton Way #29-02 SGX Centre 2, Singapore 068807 TEL: 65-6225-6120  
Plant: 300 Ayer Merbau Road, Singapore 628282 TEL: 65-6867-8496

## 事業所概要

### 従業員数

34名(2013年3月31日現在)

### 工場概要

1980年シンガポール石油化学コンプレックスプロジェクトに参画し設立されたデンカシンガポール最初のプラントです。シンガポール石油化学が集積するジュロン島にあり、アセチレンブラックの製造を行っています。1984年に50%プレス設備を稼働開始し、1997年に増設を実施、2002年には粒状設備を新設しました。アセチレンブラックは吸液性、電気導電性、熱伝導性、高純度などの優れた特性を持ち、マンガン乾電池、リチウムイオン二次電池、電力ケーブル、半導体包装材の分野において全世界へ輸出しています。



### 工場長方針

1. 無事故・無災害の継続
2. 高度化する品質要求への迅速な対応
3. 従業員への教育強化(安全・保安・衛生・環境)

メルバウ工場  
General Manager  
古賀 祐司



「デンカブラック®」(アセチレンブラック)  
導電性に優れた高純度のカーボンブラック

## 2012年度実績

- ・化学事故を想定した緊急処置訓練の実施
- ・リチウムイオン二次電池(LiB)向け高純度化設備の安定稼働
- ・事例を活用した災害・事故の撲滅運動



緊急処置訓練の様子



メルバウ工場事務所

## 2013年度の取り組み

- ◇ 定期修理工事での無事故・無災害
- ◇ 危険源の特定手法Hazard and Operability Studies (HAZOP)の実施と抽出した課題への対応
- ◇ X線装置のスムーズな立ち上げとLiB向けプロセスへの活用



メルバウ工場スタッフ

# デンカシンガポール セラヤ工場

Denka Singapore Private Limited  
Office: 4 Shenton Way #29-02 SGX Centre 2, Singapore 068807 TEL: 65-6225-6120  
Plant: 40 Seraya Avenue, Singapore 627873 TEL: 65-6867-6089

## 事業所概要

### 従業員数

76名(2013年3月31日現在)

### 工場概要

セラヤ工場は1998年にGPPS製造プラントとして生産を開始し、2006年にMS樹脂「TXポリマー®」、SBC樹脂「クリアレン®」プラントの増設を行ったのに加え、2012年4月にはイミド化ポリマー「デンカIP®」プラント(SIPプラント)が完成し、4プラント合計で、年間325,000トンの生産能力となりました。デンカグループにおけるスチレン系樹脂製造の一大拠点です。



### 工場長方針

1. 安全・保安の徹底による無事故無災害継続
2. コンプライアンスの遵守
3. ナショナルスタッフ(現地採用スタッフ)の育成、技術継承

セラヤ工場  
General Manager  
川村 禎生



SBC樹脂「クリアレン®」  
樹脂の耐熱付与材「デンカIP®」



セラヤ工場スタッフ

## 2012年度実績

・優れた安全活動と実績に対して、シンガポールの安全管理団体Safety and Security Watch Group (SSWGs)\*のCluster Awardを受賞しました。



\*警察・消防と、ビルの管理会社およびテナントとのパートナーシップ。駅、ホテル、商業施設などの民間施設のテロなどに対する安全性を強化する観点から立ち上げられた。

授賞式の様子

・石油化学系労働組合United Workers of Petroleum Industry (UWPI) 主催のフットサル大会にて優勝しました。



優勝トロフィー

## 2013年度の取り組み

- ◇ シンガポール省エネルギー法施行にあわせて、エネルギー管理士(Energy Manager)の資格を持つナショナルスタッフを中心に、省エネを推進しISO50000の取得を検討する
- ◇ 4年に一度の定期修理の、無事故・無災害での完遂

Denka Advantech Private Limited  
Office: 4 Shenton Way #29-02 SGX Centre 2, Singapore 068807 TEL: 65-6321-9530  
Plant: 11A Tuas Avenue 20, Singapore 638823 TEL: 65-6861-0004

## 事業所概要

### 従業員数

60名(2013年3月31日現在)

### 工場概要

トラス工場は溶融シリカフィラーの海外生産拠点として、1991年に操業を開始しました。主用途は半導体パッケージの封止材です。現在は半導体パッケージの高性能化、環境対応化に対応した球状タイプに特化し、品質向上や生産体制の強化を進めています。大牟田工場と連携のもと、当场からは中国、東南アジアの市場を中心に製品を供給しています。



### 工場長方針

1. 基本に立ち回り、工場の保安・従業員の安全を確保する。
2. 省エネ、省資源を推進し、環境負荷を低減する。
3. 品質リスク管理により、クレーム防止、顧客満足度向上を図る。
4. 市場の需要・技術動向にマッチした供給体制の整備を図る。
5. 工程改善と生産技術向上により、コストダウンを推進する。

トラス工場  
General Manager  
蔭山 俊之



溶解シリカフィラー(球状タイプ)(下は電子顕微鏡写真)



トラス工場スタッフ

## 2012年度実績と2013年度の取り組み

### ● 安全

パトロールや緊急時対応訓練などの定例活動のほか、2012年度の重点活動として、「安全スローガンポスター」の作成による安全意識の向上と、「ヒヤリハット報告強化月間」を実施しました。

2013年度は、作業手順の見直し・検討に取り組みます。



安全スローガンポスター



消防局と合同で実施した  
救助訓練



### ● 環境

環境負荷低減のために、次の取り組みを継続して実施しています。

- ・省エネ：生産性向上によるユーティリティ原単位の低減、省電力型ランプへの切り替え、など
- ・ポリエチレンカバー、フレコンバッグ、木製パレットなどのリサイクル
- ・再生プラスチックパレットの利用

また、シンガポール政府の省エネ政策に対応するため、社員代表2名がエネルギー管理士の資格取得を目指し、1年間に及び講習受講と試験にチャレンジしています。



省電力型ランプ



フレコンバッグのリサイクル

### ● 品質

モバイル端末やハイブリッド／電気自動車の普及に伴い、半導体デバイス材料となる当社製品の品質に対する要求は一層高度化しています。2012年に設立した「テクニカルサービスセンター」の運用を開始し、製品改良や新製品開発を進めています。引き続きタイムリーな顧客対応、品質管理強化、工程改善に取り組みます。



テクニカルサービスセンター

### ● 福利厚生

従業員表彰や従業員親睦のためのディナーパーティーを開催しています。



従業員親睦のためのディナーパーティー



従業員表彰

中国江蘇省蘇州市蘇州工業園区興浦路333号現代工業坊9B  
TEL: 86-512-6287-1088

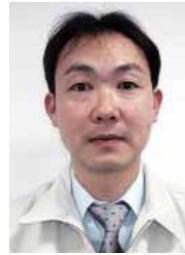
事業所概要

従業員数

74名(2013年3月31日現在)

会社概要

当社は、中国における電気化学工業の戦後初の生産販売会社として、2006年1月に設立されました。電子包装材料のキャリアテープのマイクロスリット製品の製造および中国内ユーザーの品質対応を行っています。



総経理  
門屋 雄一



総経理方針

1. 安全活動の充実を図り、無事故・無災害を継続する。
2. 環境保全への取り組みを強化する。
3. 教育・訓練を積極的に実施し、職場のレベルアップの努力を継続する。

2012年度実績

● 労働安全への取り組み

- ・職長以上の安全パトロール活動を実施し、作業危険個所の摘出と改善を進めています。
- ・従業員の安全意識の活性化を目的として、始業前の安全標語の唱和を実施するとともに、安全衛生教育を強化しています。



安全標語の唱和風景

● 保安事故ゼロへの取り組み

- ・防災設備の点検および公的機関の監査を受け入れ、火災予防対策の見直しと継続的な改善を行っています。



カレンダー形式の安全標語

● 環境保全

- ・製造収率の向上を通じた廃棄物削減に継続的に取り組んでいます。
- ・電力使用量の削減を目的とし、各電源スイッチに「こまめに消灯」を表示し、無駄な電灯使用の撲滅に取り組んでいます。

2013年度の取り組み

2013年度は、防災対策と労働安全および廃棄物削減を継続するとともに、さらなる省エネルギー化に取り組めます。さらに、中国政府の化学物質管理政策が強化されていることを受け、化学品規制の状況把握と対応の強化に努めます。

中国江蘇省蘇州市蘇州工業園区興浦路333号現代工業坊1D  
TEL: 86-512-6280-6808

事業所概要

従業員数

15名(2013年6月1日現在)

研究所概要

当研究所は、中国市場におけるデンカ製品の需要家から寄せられる分析、検査、性能評価、改良などの要望に迅速に応えるべく2010年12月に設立されました(営業開始2011年8月)。現在、特殊合成ゴム(クロロブレン、ER)、「ハードロック®」(2液アクリル系接着剤)、コンクリート用特殊混和材の研究開発を行っているほか、2013年度からは、食品包材用機能性シート、仮固定用接着剤「テンプロック®」の研究にも着手しています。



総経理  
池田 哲美



総経理方針

1. 無事故・無災害
2. 教育・訓練の充実化による人財育成の推進
3. 職場環境の向上と法令遵守
4. 製品開発・顧客対応での品質の向上

2012年度実績

● 安全対策の強化

- ・各機器の操作手順書の整備と取り扱い教育、安全表示の実施



安全表示

- ・各種薬品の取り扱い、保管、廃棄についての管理強化および危険物等資格の取得
- ・安全ミーティング・教育および資格取得による従業員の安全意識の向上
- ・職場内訓練(OJT)による人財育成、品質向上

● 技術講演会

2012年11月に取引先・関係先を招待し、技術講演会を開催しました。

高分子物性の研究で著名な東京工業大学特任教授(東京大学・東京工業大学名誉教授)の西敏夫先生をお招きし、ご講演いただきました。西先生は、北京清華大学・東京工業大学の合同大学院プログラムも担当されています。

当日は、クロロブレンの顧客(5社)と上海交通大学、他の計15名が参加されました。西先生より、ナノテクノロジーに関する最新の基礎研究から低燃費タイヤ、免震ゴムに関する応用研究まで幅広くご講演いただくとともに、講演会後は研究所の見学を開催しました。



西教授によるご講演



講演会後の研究所見学

2013年度の取り組み

2013年度は、安全教育、取り扱い薬品および廃棄物の管理強化、人財育成を継続するとともに、新規導入の研究に対しても環境保全にも取り組み、全従業員によるCSR活動のレベルアップを進めていきます。

会社概要

所在地

本社 東京都江東区木場1-5-25 電話 03-5632-9530  
工場 千葉県内3カ所(佐倉、五井、香取)

従業員数

530名(2013年4月1日現在)

主要製品

OPS製品、惣菜容器、弁当容器、寿司容器、刺身容器、  
PSPトレー、ソフライト製品、農産品容器、  
食品包装用ストレッチフィルム



代表取締役社長  
坂本 剛



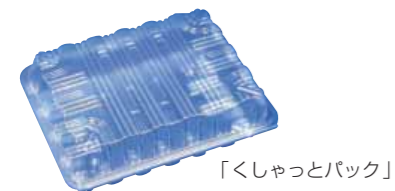
2012年度実績

● パッケージ製品の軽量化

当社は環境にやさしい省資源・省エネルギー型の容器の生産供給を目指し、全製品を対象に軽量化を推進しています。

<「くしゃっとパック」がテレビ番組にて紹介>

当社が開発した「くしゃっとパック」は、デンカ製「ソフリア®OPS」を使用した透明食品容器です。従来製品であるA-PET製容器に比べて大幅な軽量化を実現するとともに、OPS特有の「割れやすさ」を改善しました。つぶしても戻りにくく、ごみの減量化を実現できるのが大きな特長です。省資源を実現する次世代製品として、TBSテレビの情報番組で紹介されました。



「くしゃっとパック」



つぶした後の容器(左が従来製品、右は「くしゃっとパック」)

● デンカポリマーの新しい企業広告

「美味しさを守っていくために、容器はもっとエコになる」というコピーで、当社の省資源への姿勢を伝える企業広告を新たに作成しました。



● 「ファベックス2013」への出展

デンカポリマーは、「信頼で“食”を包む」をテーマに、惣菜デリカ・弁当・中食・外食業界の業務用専門展「ファベックス2013」(2013年4月3～5日、東京ビッグサイト)にブースを出展し、「ヒートプラス®」(発熱する容器)をはじめとする開発素材製品のサンプルと、従来素材の新製品を展示しました。カテゴリー別容器提案をはじめ、内容物を入れた容器展示も行い、新規来場者に対してより具体的なPRを行うことができました。

2013年度の取り組み

デンカポリマーでは、「省エネによる生産性向上」を目指し、前年比原単位1%以上の改善を目標に活動を続けています。2012年度は、事業所全体で1.1%の改善を達成しました。

2013年度以降も、成型サイクルの短縮と稼働率向上を目指しながら、「省エネ推進会議」※の活動を継続していきます。

※「省エネ推進会議」は下記の2つの会議からなる組織です。

1. 責任者会議：全体(本社、工場、物流、営業)の環境活動のレビューを3カ月ごとに開催
2. 担当者会議：工場の省エネ活動の確認を毎月開催

会社概要

所在地

本社 東京都中央区日本橋室町2-1-1 電話 03-6214-3231  
工場 新潟県五泉市(新潟工場、鏡田工場)

従業員数

602名(2013年4月1日現在)



代表取締役社長  
前田 哲郎



主要製品

インフルエンザワクチン、細菌検査試薬、ウイルス検査試薬、  
臨床化学検査試薬、免疫血清検査試薬、POCT製品



当社製品

2012年度実績

● 安全衛生活動

2011年に引き続きリスクアセスメントを実施し、重大災害事故の未然防止に努めました。パワハラ、セクハラの予防やメンタルヘルス講習会の開催など、快適な職場の構築についても取り組みを継続しています。

● 地域住民との環境安全活動

また、地域との共生と環境負荷低減の双方を目的として工場周辺の住民の方にご参加いただいている「環境モニター」制度や、地元町内会幹部との意見交換会など、幅広い交流により地域との対話を行ってきました。恒例となっている工場周辺の用水路清掃や交通安全運動など地域の活動にも積極的に参加し、地元根付いた企業としての役割を果たしています。



用水路の清掃

自家用車による通勤者が非常に多い当社工場では、駐車場の一部が住宅地内にあることから、かねてより駐車場の環境



地元住民に開放されている駐車場緑地

整備に取り組んでいます。中でも、駐車場に隣接して設置した緑地帯は一般向けに開放されており、地元の方々の憩いの場となっています。

● 地元女子バスケットボールチームの後援

地元新潟のアルビレックスBBラビッツの応援活動にも注力し、2012年11月には五泉市村松体育館で開催された全日本女子バスケットボールリーグの試合を後援しました。



BBラビッツの試合にて、久保田常務取締役による始球式

2013年度の取り組み

医薬品を製造する企業として、社会からの信頼の獲得と地域との共生を第一に考え、安全衛生活動、環境保全活動、地域への貢献など、より積極的に取り組みたいと考えています。

## 会社概要

所在地  
群馬県高崎市小八木町306 電話 027-362-7510

従業員数  
66名(2013年5月1日現在)

主要製品  
各種ゴムコンパウンド、工業用ゴム製品、  
熱膨張性耐火ゴム製品、ブチル系粘着テープ、  
水膨張止水テープ、マンホール用耐震性ジョイント



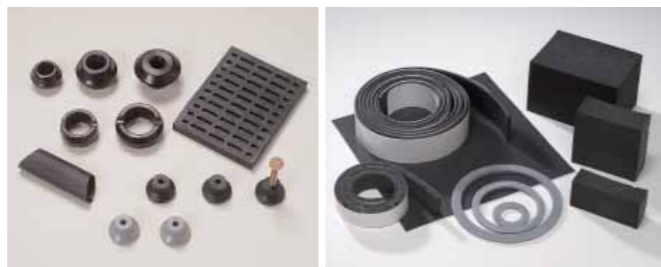
代表取締役社長  
簗輪 裕方



## 2013年度安全衛生方針

基本方針  
「5S運動で、快適作業環境、働きやすい職場づくりの推進」

- 重点項目
- ・リスクアセスメントの掘り下げ
  - ・快適な作業環境づくりのための作業場・作業方法の改善実施



## 2012年度実績

### ● 作業環境の改善

- ・第5工場は作業室の天井が低く、プレス作業時に発生するオイルミストの排気が不十分であったため、2012年7月に天井が高く換気効率の良い第7工場へプレス機を移設し、作業環境を改善しました。
- ・作業環境改善の一環として、精練工場の計量作業の近代化工事を計画しています。



第5工場でのプレス作業  
(改善前)

第7工場へ移設(改善後)

### ● リスクアセスメントの掘り下げ

各職場で危険と思われる作業についてチェックリストを活用し、危険源抽出に漏れないよう抽出作業を行い、抽出項目について対策を進めています。

### ● AED導入

2012年6月に警備会社からAEDをレンタルするとともに、安全衛生委員が同社から取り扱い講習を受講し、各部門に教育を行いました。



AED導入

## 2013年度の取り組み

「5S運動で、快適作業環境、働きやすい職場づくりを推進」する方針に基づき、群馬ものづくりインストラクターと契約し、5S運動の展開と、5Sに基づく危険源の安全対策を進め、リスクアセスメントの掘り下げにつなげます。さらに、守るべきことをきちんと守る風土のレベルアップを図ります。

精練工程の計量自動化を進め、品質の向上、軽労化、作業環境の改善を図ります。

## 会社概要

所在地  
京都府舞鶴市宇倉谷660 電話 0773-75-5760

従業員数  
43名(2013年4月1日現在)

主要製品  
熔成燐肥「ようりん」、「BMようりん」、  
熔成珪酸燐肥「とれ太郎®」、混合肥料、化成肥料



代表取締役社長  
高木 静雄



## 会社方針

基本方針  
肥料の製造を通じて社会に貢献し、従業員の自己実現を目指す。

環境方針  
環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指す。

安全方針  
導入したリスクアセスメントを掘り下げて無災害を達成する。

品質方針  
統計的手法を活用して工程管理の強化を図る。



## 2012年度実績

### ● 環境マネジメントシステム「KESステップ2」を取得

ISO14001と同一の要求事項ですが、中小企業向けの構築が容易で安価なシステムです。これをもとに環境マネジメントを推進しています。

・エネルギー単位の向上：2012年度は前年度比2%の改善目標に対し0.5%の実績(取り組み例：コンプレッサーの更新と圧力設定見直しなど)



KES認証書

- ・産業廃棄物の削減：前年度比5%の削減目標に対し11%の実績(取り組み例：木製パレットの有価物化など)
- ・一般廃棄物の削減：前年度比5%削減目標に対し22%の実績(取り組み例：紙くずの有価物化やサーマルリサイクル化など)

### ● 東北地区の復興を土づくりから応援

2011年度に引き続き、東北地区での土づくり肥料として「ようりん」を配合原料として出荷し、牧草地の天地返しによる除染作業に活用されました。

### ● 舞鶴市の川と海を美しくする会

工場に沿って流れる伊佐津川の清掃活動に年2回参加しています。長年にわたる奉仕活動が評価されて、同会は昨年度内閣総理大臣・緑綬褒状が授与されました。



緑綬褒状

## 2013年度の取り組み

### ◇ 環境改善計画

- 昨年度のテーマを見直し、以下の2項目を取り入れました。
- ・排ガスの脱硫効率の向上  
現行設備の実力を把握し、次世代の設備増強を計画します。
- ・品質クレームの撲滅  
2012年度に異物混入クレームが発生しました。

### ◇ 工場入り口の国道バイパス拡張工事

工場西・道路側の用地買収に備えて、工場レイアウトの見直し計画を作成します。

### ◇ 安全衛生管理計画

- ・安全：安全に関する手順書と記録の見直しを推進する
- ・衛生：作業環境を改善して職業性疾病の発生を防ぐ



危険物防災訓練の様子

## 会社概要

### 所在地

岩手県花巻市二枚橋第5地割118 電話 0198-26-2131

### 従業員数

27名(2013年4月1日現在)

### 主要製品

「アツミン®」(腐植酸苦土肥料)



代表取締役社長

中村 守



## 主な取り組み

1. 無事故・無災害の継続
2. 環境保全管理の遂行
3. 地域住民との信頼関係の醸成



## 2012年度実績

### ● 無事故・無災害の継続

- ・無事故無災害継続期間が474日(2013年3月末現在)となりました。1,000日継続を目標に活動を続けています。
- ・ヒヤリハット、安全パトロール、省エネ・環境、物流の4テーマについて年間計画を策定し、活動を推進しています。

### ● 環境への取り組み

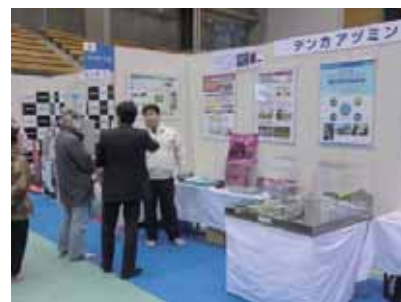
- ・花巻市公害防止協定に基づき、大気、水質、騒音、振動を測定し、基準内であることを報告しました。
- ・操業時間の集中化により、夏季および冬季の使用電力削減と節電に努めています。

### ● 地域との信頼関係の醸成

- ・硝酸漏えい災害を想定した合同防災訓練を花巻消防署と合同で実施しました。
- ・当社の硝酸漏えい防止策と非常時の対策について二枚橋公害対策協議会にご説明し、理解を得ました。
- ・県立黒沢尻工業高校、県立青雲高校の生徒計8名のインターンシップを受け入れました。なお、過去の受講生からは、これまで3名が入社しています。
- ・2012年12月に開催された花巻市主催の「はなまき産業大博覧会」にてパネル展示を行い、会社と当社の製品および災害復興支援事業を紹介しました。



高校生による就業体験



「アツミン®」の展示

## 2013年度の取り組み

- ◇ 安全作業および安定操業により、無事故無災害を継続します。
- ◇ コミュニケーションの活性化により、活動を推進します。
- ◇ 消防署との合同防災訓練、地域住民との意見交換会などを増やし、地域との交流を図ります。